

草の根通信89号

Kusanone Tsushin

[2016年12月26日発行]



特集

広域アトランタ大会の報告

第26回日米草の根交流サミット2016 広域アトランタ大会 成功裏に終了!

河野理事長 米日カウンスル(USJC)総会に参加

高知英語弁論大会特別賞受賞生徒スピーチ



あたたかい空へ。あたらしい空へ。

ANA Inspiration of JAPAN

A STAR ALLIANCE MEMBER 

河野理事長 米日カウンシルの評議員に就任

河野雅治 CIE 理事長は今年3月、日本国政府を代表して『TOMODACHI イニシアチブ・シニア・アドバイザー』に就任しました。TOMODACHI イニシアチブは、米国の有力NPOのひとつである米日カウンシルの主要事業で、米日カウンシルが外務省と「パートナーシップの強化に関する覚書」を交わしたのを機に、このアドバイザー職に就いたもの。

これに続いて今年11月には、米日カウンシルの評議員に就任。同月14日（月）と15日（火）に、米国カリフォルニア州サンタ・クララ市のシリコン・バレーで開催された米日カウンシル年次総会では、評議員会に出席するとともに、公開で行われた東京オリンピックに関するシンポジウムにもパネリストとして参加しました。



米日カウンシルの年次総会でスピーチする河野理事長



パネリストとしてシンポジウムにも参加



広域アトランタ大会に3つの学校が参加！

10月4日から開催された2016年の日米草の根交流サミット・広域アトランタ大会には、日本国内の3つの学校が参加しました。

大分県立上野丘高校は、昨年の草の根サミットでコロラドの高校生・大学生を受け入れたスーパー・グローバル・ハイスクール認定校。同校の化学部は、全国高校総合文化祭の自然科学部門（研究発表化学部門）で、今年8月に3年連続4回目の最優秀賞を受賞。この化学部の15名の生徒が、TOMODACHI イニシアチブの助成を得て、2名の教員とともに広域アトランタ大会に参加しました。メーコン市での地域分科会では、現地で開催された「ユース・リーダーシップ・サミット」にも参加。この催しに参加したメーコンの高校生のお宅でホームステイをするなど、充実した交流を体験しました。

福島県からは、2つの中学校が参加。葛尾村立葛尾中学校のほぼ全校生徒10名と教員8名、また、川内村立川内中学校のほぼ全校生徒13名と教員6名が参加しました。葛尾中の生徒達はアルファレッタ市のミルトン高校に、川内中の生徒達はロズウェル市のエルキンス・ポイント中学校に受け入れてもらい、それぞれ授業への参加、生徒との交流、また生徒宅でのホームステイなど、初めての海外で数々の刺激的で貴重な体験をしました。

また、両中学校の教員向けには、ニューナン市およびピーチツリー・シティーで教員向けプログラムを実施。小中高の授業の見学を通し、日本との教育現場との違いや類似点を発見してもらうとともに、現地の教育関係者とのディスカッションでは、教育のあり方について熱心に討議していただきました。



上野丘高校生徒とメーコンの高校生



葛尾中学校生徒とミルトン高校の生徒達



川内中学校生徒とエルキンス・ポイント中学校の生徒達

第26回日米草の根交流サミット2016広域アトランタ大会

成功裏に終了!

2016年の「第26回日米草の根交流サミット2016広域アトランタ大会」は、10月4日（火）から11日（火）まで、南部最大の商業都市アトランタを中心にジョージア州内の15市で開催されました。ジョージアでは1998年にも草の根サミットを開催しており、18年ぶり2回目の開催となりました。この地域は、「風と共に去りぬ」で知られるように、かつては綿花の一大生産地であり、南北戦争の激戦地ともなった歴史を抱えています。20世紀中頃には、アトランタ出身のマーティン・ルーサー・キング・ジュニア牧師が公民権運動を展開した場所でもあります。南部独特の暖かな気候と、濃い緑に彩られたジョージアで、日本からの参加者達は、ジョージアの多様性に触れながら、サザン・ホスピタリティで知られるおもてなしを十分に満喫しました。

大会スケジュール

10/4 (火)	成田からアトランタへ アトランタ空港到着後、ホテルへ	ザ・ジョージアン・テラス泊
10/5 (水)	午前～午後：ローカルツアー（3コースから選択、または自由） ●「アトランタ中心街」コース ●「公民権運動を学ぶ」コース ●「名門会員制ゴルフクラブでプレー」コース、イースト・レイク・ゴルフクラブ 夕刻：フォックス劇場にてオープニング式典&歓迎レセプション	ザ・ジョージアン・テラス泊
10/6 (木)	AM 地域分科会へ出発、地域分科会開始	ホームステイ
10/7 (金)	終日 地域分科会	ホームステイ
10/8 (土)	終日 地域分科会、またはホストファミリーと過ごす	ホームステイ
10/9 (日)	昼頃：ホスト・ファミリーとストーン・マウンテン・パークへ 午後：クロージング・セレモニーとお別れパーティー	エバーグリーン・マリオット泊
10/10 (月・祝)	AM アトランタ空港から成田へ	
10/11 (火)	PM 成田空港着 成田から各地へ	

大会参加者数 1,820名

日本からの参加者：150名
 オープニング式典&歓迎レセプション：300名（日本からの参加者150名含む）
 ホスト・ファミリー：420名（120家庭×3.5人）
 地域分科会でのキーパーソン&ボランティア：225名（15市×15人）
 地域での関連イベント：450名（15市×30人）
 クロージング式典&フェアウェル・パーティー：450名（日本からの参加者150名含む）
 ジョージア日米協会ボランティア・役員等：125名



主催団体

- ジョン万次郎ホイットフィールド記念国際草の根交流センター（CIE）
- CIE-US
- ジョージア日米協会

10月4日(火)

アトランタに到着

日本からの参加者は、直行便、シアトル経由便、ミネアポリス経由便に分かれて、ハーツフィールド・ジャクソン・アトランタ国際空港に夕刻到着。空港では、共催団体であるジョージア日米協会の大勢のボランティアが笑顔でお迎えくださいました。



アトランタ空港でボランティアに迎えられた参加者

10月5日(水)

ローカル・ツアー

到着翌日の5日には、アトランタならではの3つのオプション・ツアーが提供されました。

「アトランタ中心街」コースには約50名が参加。CNNセンター、ジョージア水族館、ワールド・オブ・コカ・コーラを巡り、ダイナミックなアトランタを楽しみました。

「公民権運動を学ぶ」コースは70名以上の参加者となったため、2つのグループに分かれて、それぞれカーター・ライブラリー、国立キング牧師歴史地区、公民権・人権センターを訪問。キング牧師の足跡を尋ね、牧師の子孫の方々のお話を直接聞き、違いを認めて理解しあう大切さをあらためて学ぶことができました。

「名門会員制ゴルフクラブでプレー」コースには、松山英樹プロも参加したPGAチャンピオンシップが終了したばかりのイースト・レイク・ゴルフ場で、日本からの7名の参加者が、ジョージア日米協会の会員の方々と共にプレーを楽しみました。



ワールド・オブ・コカ・コーラ見学



CNNセンターでスタジオ見学



ジョージア水族館見学



人権センターにて



キング牧師子孫による証言



ゴルフ場にて

オープニング式典&歓迎レセプション

午後5時からは宿泊ホテル「ジョージアン・テラス」の真正面に建つフォックス劇場において、オープニング式典と歓迎レセプションが開催されました。

開催地代表者、主催者、来賓者などによる挨拶、ペリー提督子孫によるスピーチ、毎年恒例の万次郎子孫とホイットフィールド船長子孫の間の地球儀の交換のほか、高知県で開催された「万次郎英語弁論大会」で特別賞を受賞した中学生・高校生によるスピーチ、また福島県川内村の中学生による神楽「浦安の舞」の披露やゴスペルソング演奏など、4時間近い式典・レセプションを夕食を交えながら楽しみました。



フォックス劇場の電光掲示板にサミットの文字が



司会のボブ・ジョンソンさんとノゾミ・モーガン(左)さん



カシム・リード アトランタ市長



篠塚隆 在アトランタ日本総領事



佐々江賢一郎 駐米日本大使



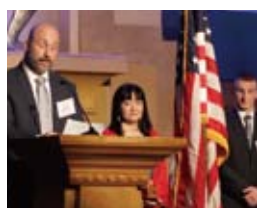
スザンヌ・パスアラ
米日カウンシル副会長



大分上野丘高校化学部生徒による自己紹介



ペリー提督子孫の
マッシュ・C・ペリーさん



万次郎子孫と
ホイットフィールド船長子孫



中濱家とホイットフィールド家
による地球儀交換



グレゴリー・ボイコ
CIE-US理事長



河野雅治 CIE理事長

10月6日(木)～10月9日(日)

地域分科会 ホームステイを含む 文化交流プログラム

10月6日、参加者達は草の根サミットのハイライトである、ジョージア州内15市で開催される地域分科会に向けて出発しました。それぞれの地域分科会では、3泊4日の工夫に富んだプログラムが提供され、参加者達はその土地ならではの文化に触れ、ホスト・ファミリーやボランティアと密な交流を体験しました。

1.ディケーター



- 市内散策
- 農家直営市場のツアー
- 野外ステージで歓迎パーティー
- 市長主催のマイルレース
- オークハースト・ポーチ祭り

日本からの
参加者数 **7名**

2.マリエッタ



日本からの
参加者数 **4名**

- ケネソー山ツアー
- ホームスクール音楽クラブ見学
- 高校アメリカンフットボール見学
- 農家直売マーケットとチョコクの祭典
- 南部料理クッキング体験

3.ローム&フロイド郡



日本からの
参加者数 **8名**

- ベリー大学見学と校友会ダイニングルームでランチ
- ショーター大学
- ダーリントン高校見学
- スズキのニートン工場見学

4.ダーロネガ



日本からの
参加者数 **13名**

- ノース・ジョージア大学訪問
- 大学での歓迎パーティー ・ コーヨーベアリング見学
- ホーリー劇場舞台裏ツアー
- 金鉱での砂金探し、地下ツアー
- ウルフ・マウンテン・ワイナリー見学

5.ゲインズビル



日本からの
参加者数 **14名**

- レーニエ憲章キャリア・アカデミーツアー
- レイク・レーニエ・オリンピック後援での歓迎パーティー
- 市長、市議らとの朝食会
- キングズ・ハワイアン工場見学
- ジェイモア農園でトウモロコシ畑の迷路体験、
スイート・エーカーでワイン試飲

6.エルバートン



日本からの
参加者数 **8名**

- 歴史劇場ツアー、歓迎パーティー
- 御影石博物館、加工工場と採掘場、記念石碑、等々を訪問
- 中心街での学生バンドなどのパレード見学
- 高校アメリカンフットボール見学
- 歴史的建造物であるエルバートン・ホテル、芸術センター等を見学

7.アセンズ



日本からの
参加者数 **3名**

- 市長面会と歓迎パーティー
- 博物館マイルツアー
- 州立植物園見学
- 遺跡ツアー
- 農家直営市場訪問、ジョージア・フォーク・フェスティバル見学

8. ピーチツリー・シティ



日本からの
参加者数 **4名**
川内中・
教職員向け
プログラム

- ブルックス牧場で乗馬体験、スターズ・ミル(水車)見学
- 経済、政治、上級地理の授業見学
- 学校運営担当者、社会科コーディネーターとディスカッション
- 高校アメリカンフットボール見学
- セレンベ地区でハロウィーン

9. ニューナン & チャタフーチー・ヒルズ



日本からの
参加者数 **5名**
葛尾中・
教職員向け
プログラム

- ヤマハ発動機工場見学、市長・助役と面会
- 経済、政治、上級地理の授業見学
- 学校運営担当者、社会科コーディネーターとディスカッション
- 高校アメリカンフットボール見学
- セレンベ地区でハロウィーン

10. メーコン



日本からの
参加者数 **17名**
上野丘高校生
向け
プログラム

- フォートホーキンス歴史地区、オクマルギー国立公園見学
- ユース・リーダーシップ・サミットに参加
- ジョージア・ナショナル・フェア見学
- メーコン市のリーダーたちとの朝食とプレゼンテーション
- ハイ・ハウス、タブマン博物館、ジョージア・スポーツの殿堂の見学

11. コロンバス



日本からの
参加者数 **4名**

- コロンバス・ミュージアムで歓迎パーティー
- スプリング・オペラハウス見学
- リバー・センター オルガン・リサイタル
- コカ・コーラ宇宙科学センター見学
- ホスト・ファミリー宅に集まって、プールサイド・パーティー

12. ダブリン



日本からの
参加者数 **7名**

- 市役所での歓迎セレモニー
- 野生博物館と鉄道コレクション見学
- 古名家訪問
- 厩舎訪問(乗馬など)
- カントリー・バーベキュー・パーティー

13. フィッツジェラルド



日本からの
参加者数 **5名**

- 商工会議所訪問とオリエンテーション
- Floyd'sでの朝食
- 産業視察ツアー
- 現地高校訪問
- グランド・シアター見学

14. ロズウェル



日本からの
参加者数 **15名**
川内中・
生徒向け
プログラム

- 校内での歓迎式典とパーティー
- 川内紹介のプレゼンテーション、よさこい踊り披露
- 校内ツアー、クラブ活動参加
- ホストの生徒との登下校
- 日本語クラス、その他の授業に参加

15. アルファレッタ



日本からの
参加者数 **13名**
葛尾中・
生徒向け
プログラム

- 校内での歓迎式典とパーティー
- 校内ツアー、ゲーム
- 日本語クラス、その他の授業に参加
- 剣道の演武
- 北フルトン郡の名所訪問(プランテーション、ショッピングモール等)

10月9日 日

クロージング式典&フェアウェル・パーティー

3泊4日の地域分科会の後は、大会を締めくくるクロージング式典とフェアウェル・パーティー。今年は、巨大な一枚岩からなる州立ストーン・マウンテン公園で、ホスト・ファミリーも参加して開催されました。式典前には、岩の側面に彫られた世界最大のレリーフ（彫刻）や、山頂からの360度のパノラマを楽しみました。

式典では、総領事の挨拶、地域分科会のキーパーソンへの感謝状贈呈のほか、福島の中学生による「花は咲く」の合唱や、剣道の演武も披露されました。また、2017年の開催地、奈良から参加した北河原公敬・東大寺長老の奈良の紹介には、皆が熱心に耳を傾けていました。



葛尾中と川内中学生による「花は咲く」合唱



葛尾中学生による剣道演武



式典の様子



パーティーの様子



篠塚隆 在アトランタ日本総領事



キーパーソンへの感謝状贈呈



デイル・ワタナベ ワシントン州
日米協会事務局長による
2018年大会のアピール



北河原公敬・東大寺長老による奈良と次大会のアピール

10月10日 月・祝

ポスト・サミット・オプション・プログラム

大会後、アメリカの文化にもっと触れたいという参加者のために3つのポスト・サミット・オプション・プログラムが開催されました。

- 世界遺産候補地サバンナ (11名参加)
- 西部劇の世界に迷い込み、芸術に浸るダラス・フォートワース (7名参加)
- 万次郎の面影残るフェアハイブんと、古都ボストン (11名参加)



フェアハイブんとボストン



サバンナ



サバンナ



ダラス・フォートワース



ダラス・フォートワース



次の花を咲かせよう。

世界を舞台に多岐にわたる分野で、
様々なビジネスを創造してきました。
それでも、まだまだ成長過程。
人のため、社会のために、
まだ見ぬ花を咲かせていきたい。
私たちはこれからも創造し続けます。

すべては、
ひとつの思いから。

万次郎英語弁論大会受賞者が オープニング式典で スピーチをしました



広域アトランタ大会には、高知県で8月に開催された「第2回ジョン万次郎英語弁論大会」で特別賞を受賞した中学生と高校生も参加。オープニング式典では、300人の日米の参加者の前で堂々とスピーチを披露。拍手喝采を受けました。彼らのスピーチを日本語版でご紹介します。



ジョン万次郎のように生きる

高知工業高等学校1年 田中 万結さん

ジョン万次郎、彼は過去の日本だけでなく未来の日本にも影響を与えている偉大な人です。

私は今年、高知工業高校の総合デザイン科に入学し工業美術の勉強をしています。我校の創立者である竹内綱とその息子明太郎もジョン万次郎の影響を受けた人物と言えるでしょう。彼らには「工業は富国の基」という信念がありました。彼らは外国の技術を大いに学び、この国を豊かで強い国にしたいと思っていたのです。それゆえにジョン万次郎がアメリカから持ち帰った知識や経験は非常に価値のあるものでした。それは当時の日本人の想像を超えるものだけに違いありません。ジョン万次郎がいなければ、私の高校は存在しなかったかもしれません。彼の人生は時を超えて、私にも影響を与えているのです。

私は将来、デジタル舞台美術の制作に従事したいと思っています。舞台美術とは空間をデザインする美術です。私は美しいものは人々を元気にし、人生を楽しく生きるためのエネルギーを与えると信じています。私は独創的で美しい空間を創造したいのです。例えば、今自分が海の中にいると想像してみてください。様々な種類の魚が自分の周囲360度を泳いでいるとします。皆さんはきっとわくわくした気持ちになるでしょう。もし実際にこのようなことを望むなら、深い海中に行かなければなりません。障害がある人やお年寄り、幼い子どもたちには実現は難しいでしょう。けれどもデジタル舞台美術ならそのような空間が人工的に

作り出せ、誰でも楽しむことができます。私は人々を今まで見たこともない夢のような空間に連れて行ってあげたいと思っています。

また、私はアーティストになるために外国を見てみたいと強く思っています。ジョン万次郎のように英語が上手でなくても、外国人と話をたくさんし、彼らの生活を自分の目で見て彼らが感じているものを感じたいです。きっと今まで思ったこともないようなことを発見するに違いありません。しかしまた、同時に共通するものも発見すると思います。ジョン万次郎は相手の国籍によって態度を変える人ではなかったと思います。彼は日本人にもアメリカ人にも同じように友好的で尊敬の念を持ち、深い思いやりの心で接したのではないのでしょうか。彼は気持ちが素直だったので、人生において多くのものを吸収したのだと思います。私も彼のように素直な気持ちで人と接し、経験によって多くのことを学び、学んだことを舞台美術のデザインに活かしていきたいです。日本の文化と外国の文化を組み合わせ、年齢や国、能力に関係なく皆が楽しめる空間を作りたいと思います。

私は昨年もジョン万次郎英語スピーチコンテストに出場しました。そして、今年もこの弁論大会に挑戦しています。なぜならば夢を実現するためにはチャレンジすることが最も大切だと思ったからです。そして私は今年受賞し、この場に立つ権利を得ました。だから私はチャレンジすることを決してやめません。人々を幸せにしたいという私の夢が私を奮い立たせます。それは、ジョン万次郎が周りの人々の役に立つことに幸せを感じたことと同じだと思います。彼は何があっても変わることがありませんでした。くじけそうになった時でも、富や名声を得た後であっても最も大切なものを忘れることはありませんでした。私も彼のように強い人間になり、私の人生で何が起ころうとも必ず突破口を見つけ、必ず夢を実現させていこうと思います。



田中万結 Mai Tanaka



ジョン万次郎と私：文化と文化のかけ橋

高知大学附属中学校1年 岡林 航平さん

こんにちは、皆さん。私は自分の名前についてお話ししてスピーチを始めたいと思います。私は航平です。コウヘイ・オカバヤシです。コウヘイに2つの漢字があります。『航』は航海から取っており、『平』は平和と関連しています。二つの字を合わせて、航平という名前は「大洋を平和に横断すること」を意味しています。だから私はジョン万次郎について考える時に自動的に自分の名前を考えてしまいます。私の家族がそう名付けてくれたのには理由があります。私の父方の祖先はもともとイギリスから来ました。最初に1700年代にアメリカへ大洋を横断し、アメリカ独立戦争の後にカナダに行きました。北米で新しい生活を始めた時は、非常に大変な生活だったに違いありません。ちょうどジョン万次郎がマサチューセッツ州フェアヘイヴンに到着した時のように、父の祖先は環境に適応して新しい物事を学んだのです。

実を言うと、ジョン万次郎のスピリットは私のまわり全体にあり、私の一部である気がします。私は日本とカナダの間を何度も行き来してきたので、環境に適応することがどれほど大変であるかを知っています。私は日本の小学校に行きましたが、今までに2回、カナダの学校で勉強したことがあります。3年生の半年間と中学生の1年間はカナダにいました。それは簡単ではありませんでした。言葉が違い、食べ物の違い、すべてが違いました。考え方も違いました。環境に適応するのがどれだけ大変かの例を一つ挙げます。カナダの学校では生徒は授業中に自分の意見を強く表現することを期待されます。私は意見を言うのが得意になりましたが、日本では授業中にあまり目立たないようにするほうがいいのです。このような種類の違いは言葉の違いよりもよほど大きいです。私は、ジョン万次郎も同じように思ったかなあと考えたりします。

今日、私は、様々な国や文化の人々と対話することが当たり前のグローバルな世界に住んでいます。しかし、ほぼ2世紀前にどうだったかを想像してみてください。ジョン万次郎は完全に一人だったのに、彼には特別な何かがあったてうまくいったのです。何らかの理由で、彼はアメリカで非常に成功し、アメリカにいる間に重要なことを学ぶことができました。それこそが、日本とカナダを行き来する時に、私が彼から学び取りたい資質です。

あれだけ困難な経験を大成功に変えたジョン万次郎の、何かがその秘訣だったのでしょうか。彼はなぜ英語と航海術についてあんなに多く学ぶことができたのでしょうか。私にとって、これらの質問の答えは、ジョン万次郎のもつ特別なスピリットです。そのスピリットがあったから彼は生き残りました。意思疎通もできました。知識を求め、新しい物事を試すこともできました。高知に帰る方法を見つけることもできました。最後に、海外で学んだことを教えるスピリットがありました。私はその同じスピリットを持ちたいです。

私は大変幸運なことに英語と日本語を話せます。しかし、それだけでは今日のグローバルな世界で十分ではありません。私は英語以外の他の言語を自分のものにしたいです。私は今、スペイン語を勉強しています。私の夢は、メジャーリーグに就職して、日本やキューバやドミニカ共和国のような様々な国出身の野球選手のコミュニケーション技術を助けることです。私はジョン万次郎がそうだったように文化と文化のかけ橋になりたいと思います。

私は、ちょうどジョン万次郎と同じように高知で誕生しました。私は、ちょうど彼と同じように国際的な心を持っていると思います。私は、ちょうど彼のように異質な物事にも適応することができます。ジョン万次郎は私の模範となる人です。同様に、私の家族も私の模範になります。彼らは共に、将来大洋と異文化間を横断する航海のときに私を先導してくれることでしょう。



岡林航平 Kohei Okabayashi



平成 27 年度 寄附協賛企業一覧 (五十音順)
List of Corporate sponsors of CIE Japan FY2015

AISIN

アイシン精機株式会社
AISIN SEIKI Co., Ltd

Aflac

アフラック
Aflac

100年をつくる会社
鹿島

鹿島建設株式会社
Kajima Corporation

kikkoman

キッコマン株式会社
Kikkoman Corporation

JTEKT

株式会社ジェイテクト
JTEKT CORPORATION

ANA

全日本空輸株式会社
All Nippon Airways Co., Ltd.

DAIKIN

ダイキン工業株式会社
Daikin Industries, Ltd.

日本の台所
庄ヤグループ

株式会社大庄
DAISYO CORPORATION

DENSO

株式会社デンソー
DENSO CORPORATION

豊田合成

豊田合成株式会社
TOYODA GOSEI CO., LTD.

TOYOTA

トヨタ自動車株式会社
TOYOTA MOTOR CORPORATION

豊田自動織機

株式会社豊田自動織機
Toyota Industries Corporation

豊田通商

豊田通商株式会社
Toyota Tsusho Corporation

TOYOTA
FINANCIAL SERVICES

トヨタファイナンシャル
サービス株式会社
TOYOTA FINANCIAL SERVICES
CORPORATION

トヨタ紡織

トヨタ紡織株式会社
TOYOTA BOSHOKU
CORPORATION

Nifco

株式会社ニフコ
Nifco Inc.

NYK LINE

日本郵船株式会社
NIPPON YUSEN KABUSHIKI
KAISHA (NYK LINE)

HINO

日野自動車株式会社
Hino Motors, Ltd.

FUJITSU

富士通株式会社
Fujitsu Limited

brother

ブラザー工業株式会社
BROTHER INDUSTRIES, LTD.

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上火災保険株式会社
Mitsui Sumitomo Insurance
Company, Limited

三井住友銀行
SMBC

株式会社三井住友銀行
Sumitomo Mitsui Banking
Corporation

三菱商事

三菱商事株式会社
Mitsubishi Corporation

三菱食品

三菱食品株式会社
Mitsubishi Shokuhin Co.,Ltd

明治安田生命

明治安田生命保険相互会社
Meiji Yasuda Life Insurance Co.

愛知製鋼株式会社 / アサヒグループホールディングス株式会社 / 東京海上日動火災保険株式会社
パナソニック株式会社 / 矢崎総業株式会社

AICHI STEEL CORPORATION / Asahi Group Holdings, Ltd. / Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd.
Panasonic Corporation / Yazaki Corporation

平成 27 年度 日米草の根交流
サミット大会への寄付企業一覧 (五十音順)

大分トヨペット株式会社

大分トヨペット株式会社

Canon

キヤノン株式会社

ANA

全日本空輸株式会社

KYUSHU
ダイハツ九州株式会社
ダイハツ九州株式会社

三菱商事

三菱商事株式会社

オムロン太陽株式会社 / 富士通エフサス太陽株式会社
ホンダ太陽株式会社 / 三菱商事太陽株式会社

平成 27 年度 法人賛助会員一覧 (五十音順)
Corporate members

明治安田生命保険相互会社 / 株式会社三菱東京UFJ銀行
Meiji Yasuda Life Insurance Co. / The Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Ltd.

公益財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念
国際草の根交流センター
John Manjiro Whitfield Commemorative
Center for International Exchange

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-12-18 グランアックス麹町 602
TEL : 03-3511-7171 FAX : 03-3511-7175

GRAND AXE 602 2-12-18 Koujimach, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083, Japan
TEL : +81-03-3511-7171 FAX : +81-03-3511-7175
Email : manjiro@manjiro.or.jp URL : http://www.manjiro.or.jp